

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

公営企業会計		事務事業分類			基礎点検
事務事業名		D 建設・整備事業			
担当部署名		シート番号			60-10
上下水道	局	水道	部	水道サービスセンター	課
評価責任者(課長名)					井倉

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 51 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	水道法			
	4	関連計画	新世紀第二次配水施設整備事業計画(平成20~27年度)、堺市上下水道ビジョン等			
5	事業実施の経緯	水道事業創設から使用材料が変更される昭和50年度までの間(一部の区間で昭和61年度まで鉛製給水管使用あり)、給水管材料として鉛製給水管を使用してきたが、腐食に伴う漏水が多発したことから、漏水の防止を図るとともに水道水の安全性をより一層高めるため、ポリエチレン管への取り替えを進めるもの。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	市民をはじめとしたお客さま			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	水道水の安全性を高めるとともに、鉛製給水管からの漏水を未然に防止します。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・経年劣化(法定耐用年数を経過した管路の内、老朽化したもの)した配水支管の更新において、鉛製給水管が多く残存している路線を優先的に更新することで早期に鉛製給水管を解消する。(事業費は、配水支管の整備事業に含まれる。) ・配水支管の更新が当面の間計画されていない路線や、私道部分において順次鉛製給水管を解消する。(平成30年度205件解消) ・道路上の鉛製給水管の取替工事に要する費用の一部を補助金として助成する。(平成30年度5件解消) ※鉛製給水管解消・・・配水支管に接続されている鉛製給水管をポリエチレン管に取り替える行為			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() (株)中本建設、(株)アサヒ水道商会、阪和水道(株)				

Ⅲ. 投入量

項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	50,421	40,320	39,968	52,800	
	主な事業費内訳	鉛管の単独取替	千円	49,298	39,337	39,213	50,800
		鉛製給水管取替工事補助	千円	1,123	983	755	2,000
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	50,421	40,320	39,968	52,800
	12	人件費 (b)	千円	25,420	25,420	25,420	25,110
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	75,841	65,740	65,388	77,910	